

「茗溪・筑波大学産業人会」

「産業人会」のこれまでの振り返り、
今後を展望する

2016年12月21日

産業人会 事務局

塩津 真

「産業人会」発足の背景

2013年 「東京都茗溪会」発足

- それまで都内28の組織に分かれ、活動が停滞していた茗溪会支部を統合する形で発足(→2016年「東京茗溪会」として「支部組織」になる)
- 発足当初より、「企業人」を対象とした企画を検討

2015年4月 真当・塩津で「茗溪・筑波大学産業人会(仮称)」開催準備スタート

- 方針
 - 細くとも長く続ける(→小規模の集まりを継続的に実施)
 - 気軽に参加できる(→会費が安い、飛び込み参加OK)
 - 参加するメリットがある(→情報提供、人脈拡大)
 - 参加者を広げすぎない(→参加者は現役世代に限る)
 - 手間を掛けない(→メール・SNSのみで連絡)
- 実施の基本形態を決定(→現在もそのまま踏襲)
 - 毎月・第3水曜日に開催
 - 卒業生のどなたかより話題提供&飲食を伴う懇親交流会
 - 会費:2,000円
 - 会場:茗溪会館(→第3回より「嘉ノ雅 茗溪館」がサービス提供)
 - 東京都茗溪会のメールアドレスを使って連絡
 - 広報は、メールの配信・HP・SNSが中心

これまでの実施状況①

| | 参加人数 | 話題提供者 (敬称略) | テーマ |
|-------------------|------|----------------|--|
| 第1回 2015/6/17 | 25 | 塩津 真 | 企業の人事・組織戦略の潮流 |
| 第2回 2015/7/15 | 19 | 橋本 直彦 | 広告業界の現状 |
| 第3回 2015/8/19 | 22 | 高橋 誠 | 最新のネーミング事情 |
| 第4回 2015/9/16 | 23 | 松村 直樹 | 今の大学生のキャリア感覚 ～今、大学ではどんなことが起きているか～ |
| 第5回 2015/10/21 | 28 | 秋谷 俊之 | 教育改革の今までとこれから – 民間教育産業の果たすべき役割 – |
| 第6回 2015/12/17 | 30 | 渡部 清二 | 「四季報」を通じて見える将来展望と、今まで聞いたことが無い「お金と投資」の話 |
| 第7回 2016/1/20 | 24 | 星野 雄一 | 製造業の現状と開発力強化の方向性 |
| 第8回 2016/2/18 | 27 | 登里 民子 | 東南アジアの日本語教育と日本語パートナーズの活躍 ～インドネシアを中心に～ |

これまでの実施状況②

| | 参加 人数 | 話題提供者 (敬称略) | テーマ |
|--------------------|----------|----------------|---|
| 第9回 2016/3/18 | 27 | 野村 宏 | 「電力全面自由化」を考える |
| 第10回 2016/4/20 | 25 | 藤田 文武 | スポーツ・フィットネス関連業界の動向と経営 |
| 第11回 2016/5/18 | 29 | 藤村 優香理 | 2016・2017新卒採用の事例と今後の動向 |
| 第12回 2016/6/15 | 23 | 中野 裕子 | 新聞・雑誌の取材活動を通して見える世界 |
| 第13回 2016/7/15 | 26 | 住 正宏 | 味覚のメカニズムとおいしさ&乳製品の料理への活用 |
| 第14回 2016/8/17 | 22 | 櫻井 康一 | トライアスロンの魅力～一流のビジネスマンはなぜアイアンマンレースに惹かれるのか～ |
| 第15回 2016/9/21 | 32 | 天辻 康裕 | 2020年 東京オリンピック・パラリンピックの運営展望～セーリング会場変更の理由と諸課題～ |
| 第16回 2016/10/19 | 31 | 高橋 基之 | 学校教育の現状と将来展望 ～「社会に開かれた教育課程」を読み解く～ |

参加者の状況

| | | |
|---------|-------------|---------|
| 延べ参加人数 | | 4 1 3 名 |
| 参加実績人数 | | 1 4 3 名 |
| 参加回数別内訳 | 1 6 回（全回） | 4 名 |
| | 1 0 ～ 1 5 回 | 7 名 |
| | 5 ～ 9 回 | 1 3 名 |
| | 2 ～ 4 回 | 3 6 名 |
| | 1 回のみ | 8 3 名 |
| 卒年別内訳概要 | 1977年以前卒 | 1 0 名 |
| | 1978～1985年卒 | 3 8 名 |
| | 1986～1995年卒 | 3 8 名 |
| | 1996～2005年卒 | 2 7 名 |
| | 2006～2015年卒 | 2 4 名 |
| | 2016卒 & 在学生 | 4 名 |
| | 未確認 | 2 名 |

参加者の声(アンケートの回答状況:回答者32名)

- ①「産業人会への参加」について、あなたの考え方に近いものを下記から選んで○をお付けください。(重複回答有)

| | |
|---|----|
| 1. 時間の都合が合えば、「話題提供」の内容に関わらず、参加したい | 25 |
| 2. 自分にとって興味・関心のある「話題提供」のテーマである時には、参加したい | 7 |
| 3. 友人・知人から一緒に行くことを誘われたら参加したい | 3 |
| 4. 特に、決まった考え方はなく、その時の気持ちで参加を考える | 1 |
| 5. 今後、あまり参加しようと思わない | 0 |
| 6. その他 | 1 |

主なコメント

- どのような内容でも、必ず何かしらの気づきを得られる
- 興味がなかったテーマであっても、参加する中で面白さを発見したことが多々あった
- いろいろなジャンルの話が聞けるうえ、参加者との懇親会があるので、人脈が広がる
- あまり堅苦しくなく気軽に参加できる
- 皆さんと会うのが楽しみ

- ② 「話題提供」のテーマとして聞きたい内容・ジャンルがあれば、お聞かせください。

主なコメント

- ジャンルは問わない／今までのような幅広いジャンルのお話だとありがたい
- 科学系のテーマがもう少し増えるとうれしい
- 会社および業界内での人材育成や能力評価の話
- 何であれ、話題提供者が自信を持っていることについてのお話ならばありがたい
- 企業のCSR活動、社会貢献、WLBなど。若い世代が何を考えているのか
- 専門学群(医学・芸術・体育系)の方たちの専門家として話を聞いてみたい
- 話が面白ければ、その分野は何でもよいが新聞では解説してくれないようなニッチ市場がよりベター
- 課題や苦勞の内容が面白ければ、会社紹介＆商品紹介でも可(若手層でなにかを売り込みたいということでも可)
- 各業界の現状から見た将来像(産業界が抱える課題について)
- 業界の裏話など、なかなか聞けない実態などがうかがえると面白い
- 企業の国際戦略や外国人社員のあり方
- 新規事業の立ち上げ、高齢少子化に向けての事業展開の工夫や人事施策など
- 農林水産業・産業振興や街づくりについて
- 道路をはじめとするインフラ関係
- 地域活性化の取り組みなどの事例

- ③ 「話題提供 & 懇親会」という現在の実施形態について、ご意見・ご提案・ご要望をお聞かせください。

主なコメント

- 現在の形態がベストだと思う
- 話題提供について、いつか自分の番になるのかと、少し気が滅入る
- 機会があれば、現役の学生と交流できる場もあると、会の発展も期待できる
- 同じテーマでのパネルディスカッションや現役学生を含めた形のものも関心がある
- 懇親会では初参加のメンバーの自己紹介があるとよいと思う
- 基本的には現状のスタイルでよいが、半年に一度くらい「筑波大学のプレゼンスを高めるためには」等のテーマを設定し、ワークショップや討議を行うというのはいかがでしょうか
- パネルディスカッションや参加メンバー間の意見交換会も考えられるが、事前準備の負担を考えるとちょっと難しいか
- 当分は今の形態でよいが、話題提供者の確保が難しくなることも考えられなので、テーマを絞り込まずに参加者の中から3~4人ずつ枠を取って自分の所属する企業・団体のPRの話をしてもらう程度でも良い(そのくらい気軽に)

- ④ 「懇親会」の内容(料金・料理・会場等)について、ご意見・ご提案・ご要望をお聞かせください。

主なコメント

- 2000円がベスト／現状で申し分ない
- 少しさみしいと思いますが、2000円であれば致し方ないと思います。かといって、参加費を上げると若い方が参加しにくくなるのかなと思います
- やや物足りない

- ⑤ 集客・広報・案内の方法等について、ご意見・ご提案・ご要望をお聞かせください。

主なコメント

- 現状のHPと口コミのシステムを継続することで、良いと思います
- 「ひとり1名紹介運動」でもいいかなあ、と思います
- 各メンバーにメールを送ってもらうよう、一層のPRを
- 「拡大することが良いことか」という論点もあると思います
- たまには「土日開催」を試してみてもは？
- 新規メンバーを連れてきた場合には、同伴割引(1000円)というのはどうでしょう
- 口コミを補完する観点からSNS等ネットの効果的な活用方法を研究する

- ⑥ その他、「会」のあり方や運営方法等、ご意見・ご提案・ご要望をお聞かせください。

主なコメント

- もっと若い人が来ていただけると話題も広がるのではないのでしょうか？
- 規模が大きくなれば例えば「副幹事」的な役割の人も必要になるのでは？
- もうしばらく続けてみて、参加者の固定化が続くようなら、何かチェンジが必要
- 極めて個人的ではありますが、出張の多い仕事のため、週の真ん中よりは月曜か金曜の方が参加はしやすい
- できるだけ毎月参加しようと思っておりますが、毎月このあたりの水曜は意外と会社の行事が入りがち、なかなか参加できません。
- ネガティブな事象が生じたときリスク管理のために、参加者が守るべき最低限のルールみたいなものを整理して、必要に応じて提示できるようにしておいた方がいいかもしれない